

科目コード／科目名 (Course Code / Course Title)	EX180／法哲学 (Philosophy of Law)		
担当者名 (Instructor)	米村 幸太郎(YONEMURA KOTARO)		
学期 (Semester)	秋学期(Fall Semester)	単位 (Credit)	4単位(4 Credits)
科目ナンバリング (Course Number)	LPX2000	言語 (Language)	日本語 (Japanese)
備考 (Notes)			

授業の目標(Course Objectives)

法哲学における基本的な理論的立場を学習し、それにそって社会の問題を考えることを目的とする。

This course aims to learn the basic theories in Philosophy of Law, and apply them to our social problems.

授業の内容(Course Contents)

法哲学は、法の根底にある価値や法の概念それ自体について哲学的な検討を行う学問の領域です。この授業では、特に正義論と呼ばれる領域について学びます。わたしたちは通常、法というのは正義の実現を目指すものなのだと想定しています。現実にはしばしばそれに失敗しているとしても、です。ですが、そもそも正義とはなんなのでしょう？法哲学者はこの面白いけれど捉えどころのない疑問について、長年に渡って議論してきています。結果、彼らは正義についてのたくさんの理論的立場を生み出しました。この講義ではそのいくつか(たとえば功利主義、リベラリズム、リバタリアニズム等々)を学習します。さらに、それらの理論に即して、いくつかの社会的問題(たとえば喫煙規制、臓器市場、グローバルな貧困等々)を考えたいと思います。哲学に関する特別な前提知識は必要ではありませんので、安心してください。

Philosophy of Law is an academic discipline which philosophically examines the underlying values of law and the concept of law itself. The primary scope of this course is an area called "Theory of Justice", in particular. We ordinary assume that law aims to achieve justice, though actual laws often fail to do that. However, what is justice in the first place? Legal philosophers have been arguing about this intriguing but elusive question for years. As a result, they propose lots of theories of justice. I want you to learn some of them, such as utilitarianism, liberalism, libertarianism and so on. Moreover, I try to apply them to some social issues, such as smoking regulation, organ markets, global poverty and so on. Though you might think that you need a special knowledge of philosophy, there are no particular prerequisites for this course. Feel safe!

授業計画(Course Schedule)

1. イントロダクション
2. 正義とは何かにそもそも答えなどない？－相対主義とメタ倫理学1
3. 正義とは何かにそもそも答えなどない？－相対主義とメタ倫理学2
4. 幸福がすべて？－功利主義1
5. 幸福がすべて？－功利主義2
6. 幸福がすべて？－功利主義3
7. 「スタンダード」としてのリベラリズム1
8. 「スタンダード」としてのリベラリズム2
9. 「スタンダード」としてのリベラリズム3
10. もっと自由であるべきなのか？－リバタリアニズム1
11. もっと自由であるべきなのか？－リバタリアニズム2
12. もっと自由であるべきなのか？－リバタリアニズム3
13. 平等に分けていく？－平等主義1
14. 平等に分けていく？－平等主義2
15. 平等に分けていく？－平等主義3
16. 自由であれと言われても－パターナリズム1
17. 自由であれと言われても－パターナリズム2
18. 個人だけが大事なの？－コミュニタリアニズム1
19. 個人だけが大事なの？－コミュニタリアニズム2
20. 異なる文化をどう扱うか？－多文化主義1
21. 異なる文化をどう扱うか？－多文化主義2
22. 好き勝手していいの？－卓越主義と公民的徳性1
23. 好き勝手していいの？－卓越主義と公民的徳性2
24. 好き勝手言っていていいの？－表現の自由と民主主義1
25. 好き勝手言っていていいの？－表現の自由と民主主義2
26. 自分の国を優先していいの？－グローバル・ジャスティス1
27. 自分の国を優先していいの？－グローバル・ジャスティス2

28. 自分の国を優先していいの？ーグローバル・ジャスティス3

授業時間外(予習・復習等)の学習(Study Required Outside of Class)

特段の予習は必要ないが、毎回の内容は復習することが望ましい。詳細は初回のイントロダクションで説明します。

成績評価方法・基準(Evaluation)

筆記試験(Written Exam)(70%)/リアクションペーパー(30%)

テキスト(Textbooks)

1. 瀧川裕英・宇佐美誠・大屋雄裕、2014、『法哲学』、有斐閣 (ISBN:978-4-641-12567-4)

参考文献(Readings)

初回配布資料でより詳しく説明します。

その他(HP等)(Others(e.g.HP))

注意事項(Notice)